

# 歩いて楽しむ、秋の国道。



川端康成の「伊豆の踊子」で有名な天城越えのみち。  
じつは、今も現役の国道414号線として、静岡県が管理しています。

さて、いよいよ秋も本番。沿線の木々はもうじき赤や黄に美しく染まります。  
文学のみち、歴史のみち、ジオのみち、そして美しいみち、天城路。  
ゆっくり歩いて、秋を味わってください。

11月号



みらいズ

下田土木事務所

〒415-0016 静岡県下田市中531番地の1  
E-mail : shimodo-kikaku@pref.shizuoka.lg.jp

TEL : 0558-24-2113  
FAX : 0558-24-2123

表紙写真: 調べる納得解決サイトより引用

# 往年の名作「伊豆の踊子」

## を彷彿させる九十九折りの道。



道がつづら折りになって、いよいよ天城峠に近づいたと思う頃、雨脚が杉の密林を白く染めながら、すさまじい早さで麓から私を追ってきた。「伊豆の踊子」より

### 継承と水路



自然石を丁寧に並べた水路からは先人達の苦労がうかがえます。

大雨の前後には、落葉や土砂の詰まりがないか点検しています。

河津七滝



**六方石**  
溶岩が冷却し収縮する過程で、五〜六角の縦方向の割れ目（柱状節理）が生じてできる。

### 文学と舗装

曲がるたび新しい景色が広がる道は、自然に近い姿を残そうと砂利道です。

大雨後の補修には、砂利に他の材料を混ぜるなど長持ちする工夫をしています。

### コラム

#### カンテンの橋？

石川さゆりさんの「天城越え」に登場する寒天橋。伊豆は天草(てんぐさ)の名産地。天城が寒天づくりに適した気候のため、明治時代に工場がつくられたことが名前の由来となっています。この道を寒天を載せた車が通ったのかもしれませんが。



### 景観と防護柵

道路わきの防護柵には六方石。伊豆らしさを演出しています。

高さや強度が必要な場所には、景観に配慮した柵を設置しています。

### 知っていますか？ もう一つの川端康成の名作 【映画「有りがたうさん」】

1936年（昭和11年）公開の清水宏監督の映画。原作：川端康成の「有難う」、主演：上原謙  
下田から三島へ1台のバスが通ると、道行く人はみな道を開け、運転手はいつも「ありがとー」と声をかけた。乗客やすれ違う人々との交流を、昭和初期の美しい天城路の風景を交えながら描いている。

